

報告

2015 年度中四国地区

「天文・宇宙が学べる大学」合同進学説明会

小田 玄（修道中学校・高等学校）、川端弘治（広島大学 宇宙科学センター）

1. はじめに

「大学で宇宙について学ぶのもおもしろそう」、「天文や宇宙の研究をしてみたい」そのように考えている高校生や関係者を対象に、宇宙の研究をしている大学教員がそれぞれの大学の特色を紹介するイベントが「天文・宇宙が学べる大学」合同進学説明会である。例年、全国各地でこの会が実施され、すっかり見慣れたイベントになったが、じつは中四国地区が開催したのが最初である[1]。

2015 年度の中四国地区「天文・宇宙が学べる大学」合同進学説明会が、11 月 8 日に愛媛大学メディアホールを会場として開催されたので、その概要を報告する。

2. これまでの経緯

2008 年に全国に先駆けて岡山県で開催されたのが第 1 回目であった。その後下記のように中四国地区持ち回りで開催し、今回の愛媛県開催が四国地区で 2 回目である。

岡山大学 2008 年 6 月 22 日（日）

広島市こども文化科学館

2009 年 7 月 4 日（土）

広島市こども文化科学館

2010 年 11 月 28 日（日）

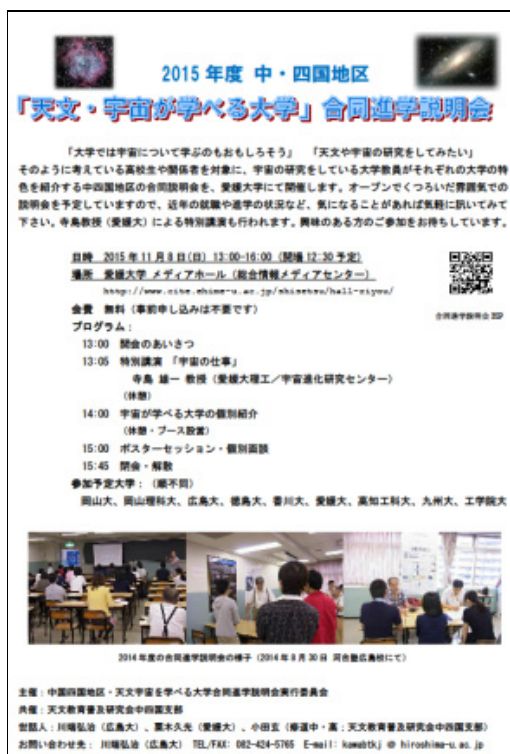
徳島大学 2011 年 12 月 3 日（土）

岡山理科大学 2013 年 6 月 15 日（土）

河合塾広島校 2014 年 8 月 30 日（土）

愛媛大学 2015 年 11 月 8 日（日）

グリストで連絡を取り合いながら準備を進めた。まず開催を事前に候補に挙がっていた愛媛大学の関係者と連絡を取り、日程も決定した。日程は、いくつかの県で現場に問い合わせるなどして、最も高校生が集まりやすいと思われる日程に設定した。その後、愛媛大学の栗木久光教授を中心に会場準備が成された。会場となった愛媛大学のメディアホールは、各種視聴覚施設や可動式の机などを備えた非常に立派なホールであった。会の主な流れや参加大学の決定などは川端がまとめた。



2015 年度 中・四国地区
「天文・宇宙が学べる大学」合同進学説明会

「大学で宇宙について学ぶのもおもしろそう」「天文や宇宙の研究をしてみたい」
そのように考えている高校生や関係者を対象に、宇宙の研究をしている大学教員がそれぞれの大学の特色を紹介する中四国地区の合同説明会を、愛媛大学にて開催します。オープンでくつろいだ雰囲気での説明会を予定していますので、送年の就職や進学の状況など、気になることがあれば気軽に聞いてみて下さい。寺島教授（愛媛大）による特別講演も行われます。興味のある方のご参加をお待ちしています。

日時：2015 年 11 月 8 日（日）12:00-16:00（開場 12:30 予定）
場所：愛媛大学 メディアホール（総合情報メディアセンター）
<http://www.cshb.shimane-u.ac.jp/shanews/hall-signup/>

会費：無料（事前申し込みは不要です）

プログラム：
13:00 開会のあいさつ
13:05 特別講演「宇宙の仕事」
寺島 雄一 教授（愛媛大理工／宇宙進化研究センター）
（休憩）
14:00 宇宙が学べる大学の個別紹介
（休憩・ブース設置）
15:00 ポスターセッション・個別面談
15:45 閉会・解散
参加予定大学：（順不同）
岡山大、岡山理科大、広島大、徳島大、香川大、愛媛大、高知工科大、九州大、工芸院大

2014 年度の合同進学説明会の様子（2014 年 8 月 30 日 河合塾広島校にて）

主催：中国四国地区・天文宇宙を学べる大学合同進学説明会実行委員会
共催：天文教育普及研究会中国四国支部
世話人：川端弘治（広島大）、栗木久光（愛媛大）、小田玄（修道中・高）、天文教育普及研究会中国四国支部
お問い合わせ先：川端弘治（広島大） TEL/FAX: 082-424-5765 E-mail: kawabtk@hiroshima-u.ac.jp

3. 準備

年度当初より中四国地区の関係者メーリン

図 1 合同進学説明会のチラシ

参加者の募集案内は、四国の各県、岡山県、広島県で、それぞれの県の担当者がネット等を用いて各高校に対して行った。特に開催県である愛媛県では、愛媛大学から県内の高校 42 校や県総合博物館等の公共施設 7 件などにチラシを郵送してもらい、周知を図った。また、広島大学のサーバーにホームページを設けて案内を載せた。図 1 はそのチラシである。

4. 当日の様子

開会の挨拶の後、愛媛大学の寺島雄一教授による「宇宙の仕事」と銘打った特別講演が行われた（図 2）。世界の各地で宇宙開発などのお仕事に携わってこられた寺島さんのお話は、宇宙について学ぼうとしている生徒にとっては、天文に関わる仕事の具体的なイメージの湧く、うってつけのお話であった。



図 2 寺島教授の特別講演

その後は各大学からのプレゼンテーションとなり、西日本各地の大学だけでなく、関東も含めた 9 つの大学の先生方が、それぞれ各大学の魅力を熱く語られた（図 3、表 1）。ずいぶん和昔はこんな会など無く進学情報誌の情報も貧弱なものであったので、近頃の高校生は恵まれているものだとつくづく感じた。わざわざ幾つもの大学のオープンスクールに出かけなくても、地方にいながら多くの大学



図 3 各大学のプレゼンの様子

表 1 参加大学、参加者数、アンケート回答

参加大学	工学院大、岡山大、岡山理科大、広島大、徳島大、香川大、愛媛大、高知工科大、九州大
参加者数	高校生・浪人生 2名 一般の方 6名（うち2名は教育関係者） 大学・実行委関係 13名
アンケート回答	<本会を知った経緯> 先生から 3(1)、知人から 4(1)、インターネットで 1
有効回答数 8	<参加して良かったか> 期待以上 1(1)、期待程度 3(1)、期待ほどではないが
カッコ書きは高校生・浪人生の内数	まずまず 1 <主なコメント> (高校生・浪人生から) まとまって話が聞けたのでとても参考になった。様々な大学から面白い研究や特徴が聞けて、来て良かった。 (一般の方から) 小中学生でも参加できるイベントがあると良い。易しい内容のイベントも多くしてほしい。大学の先生が和気あいあいと話をしているのが印象的だった。

の情報が一度に収集できるのも、地方にいるものにとっては大きな魅力の1つである。

惜しむらくは、参加者の中に高校生が少なく(表1)、参加大学数よりも少数であったことである。参加した高校生は熱心に話を聞いており、ポスターセッションでは大人気で引っ張りだこであった(図4)。



図4 ポスターセッションの様子

5. 今後について

今回は高校生の参加人数の落ち込みが顕著であった。九州や近畿地区の開催では多くの参加が見られたという情報もある。中四国地区在住の天文を学ぶことを目指す高校生達に、的確な情報を流して、折角のチャンスを無にさせないようにしなくてはならない。又、ターゲットを高2にするのか高3にするのかでも日程の設定が異なる。説明会終了後に会場にて即席で行われた反省会では、広報の方策

と日程の設定とが課題に挙げられた。次回は岡山で開催する運びとなり、高校生が集まりやすい日程として、6月開催が予定されている。

文 献

- [1] 畠浩二(2008)「“天文・宇宙系大学中四国地区合同進学説明会”の開催と意義」, 第22回天文教育研究会・2008年天文教育普及研究会年会集録, 35



小田 玄



川端弘治

* * * * *